

内航海運 内航海運の活動

1 輸送機関別国内貨物輸送量及び輸送分担率の推移

輸送機関別国内貨物輸送量に占める内航海運のシェアは、輸送量(貨物重量)では7%であるが、輸送活動量(貨物重量×輸送距離)では42%に及んでいる。内航海運は長距離・大量輸送に適した輸送機関であり、2019年度の平均輸送距離で見ると497kmで、自動車の約10倍である。

出典：国土交通省海事局

年度	輸送量(万トン)					輸送活動量(百万トンキロ)					平均輸送距離(km)			
	内航	自動車	鉄道	航空	計	内航	自動車	鉄道	航空	計	内航	自動車	鉄道	航空
1965	17,965 (6.87)	219,320 (83.83)	24,352 (9.31)	3 (0.00)	261,640 (100)	80,635 (43.42)	48,392 (26.06)	56,678 (30.52)	21 (0.01)	185,726 (100)	449	22	233	700
1970	37,665 (7.17)	462,607 (88.06)	25,036 (4.77)	12 (0.00)	525,319 (100)	151,243 (43.18)	135,916 (38.80)	63,031 (18.00)	74 (0.02)	350,264 (100)	402	29	252	617
1975	45,205 (8.99)	439,286 (87.41)	18,062 (3.59)	19 (0.00)	502,572 (100)	183,579 (50.92)	129,701 (35.98)	47,058 (13.05)	152 (0.04)	360,490 (100)	406	30	261	800
1980	50,026 (8.36)	531,795 (88.91)	16,283 (2.72)	33 (0.01)	598,136 (100)	222,173 (50.63)	178,901 (40.77)	37,428 (8.53)	290 (0.07)	438,792 (100)	444	34	230	879
1985	45,239 (8.08)	504,805 (90.19)	9,629 (1.72)	54 (0.01)	559,726 (100)	205,818 (47.41)	205,941 (47.43)	21,919 (5.05)	482 (0.11)	434,160 (100)	455	41	228	893
1990	57,520 (8.65)	598,479 (90.03)	8,662 (1.30)	87 (0.01)	664,748 (100)	244,546 (44.86)	272,579 (50.00)	27,196 (4.99)	799 (0.15)	545,120 (100)	425	46	314	918
1995	54,854 (8.43)	587,720 (90.37)	7,693 (1.18)	96 (0.01)	650,363 (100)	238,330 (42.76)	293,001 (52.57)	25,101 (4.50)	924 (0.17)	557,356 (100)	434	50	326	963
2000	53,702 (8.60)	564,609 (90.43)	5,927 (0.95)	110 (0.02)	624,348 (100)	241,671 (41.92)	311,559 (54.05)	22,136 (3.84)	1,075 (0.19)	576,441 (100)	450	55	373	977
2005	42,615 (8.01)	484,223 (90.99)	5,247 (0.99)	108 (0.02)	532,193 (100)	211,576 (37.18)	333,524 (58.62)	22,813 (4.01)	1,075 (0.19)	568,988 (100)	496	69	435	995
2010	36,673 (7.41)	453,810 (91.69)	4,365 (0.88)	100 (0.02)	494,948 (100)	179,898 (40.20)	246,175 (55.01)	20,398 (4.56)	1,032 (0.23)	447,503 (100)	491	54	467	1,032
2013	37,833 (7.93)	434,575 (91.12)	4,410 (0.92)	102 (0.02)	476,920 (100)	184,860 (43.90)	214,092 (50.85)	21,071 (5.00)	1,049 (0.25)	421,072 (100)	489	49	478	1,028
2014	36,930 (7.81)	431,584 (91.25)	4,342 (0.92)	102 (0.02)	472,958 (100)	183,120 (44.10)	210,008 (50.6)	21,029 (5.06)	1,050 (0.25)	415,207 (100)	496	49	484	1,029
2015	36,549 (7.78)	428,900 (91.28)	4,321 (0.92)	101 (0.02)	469,871 (100)	180,381 (44.29)	204,316 (50.17)	21,519 (5.28)	1,056 (0.26)	407,272 (100)	494	48	498	1,046
2016	36,449 (7.61)	437,827 (91.45)	4,409 (0.92)	100 (0.02)	478,785 (100)	180,438 (43.68)	210,316 (50.91)	21,265 (5.15)	1,057 (0.26)	413,076 (100)	495	48	482	1,057
2017	36,013 (7.52)	438,125 (91.51)	4,517 (0.94)	100 (0.02)	478,755 (100)	180,934 (43.65)	210,829 (50.86)	21,663 (5.23)	1,066 (0.26)	414,492 (100)	502	48	480	1,066
2018	35,445 (7.50)	432,978 (91.59)	4,232 (0.90)	92 (0.02)	472,747 (100)	179,089 (43.69)	210,467 (51.35)	19,369 (4.73)	977 (0.24)	409,902 (100)	505	49	458	1,062
2019	34,145 (7.24)	432,913 (91.83)	4,266 (0.90)	87 (0.02)	471,411 (100)	169,680 (41.95)	213,836 (52.87)	19,993 (4.94)	925 (0.23)	404,434 (100)	497	49	469	1,063

(注) ①()は、輸送機関別のシェア(%)である。②航空には超過手荷物、郵便物を含む。③自動車は1990年度より軽自動車を含む数字である(2010年度から自家用貨物軽自動車の数字は除く)。2010年度から調査・統計方法を変更。東日本大震災の影響により、北海道運輸局及び東北運輸局の2011年3月及び4月の数値は含まれない。

④単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。

2 主要品目別内航貨物輸送量の推移

内航海運が輸送する貨物は、石炭、鉄鋼、セメントなど産業の基礎となる物資が大半を占めるが、この10年間では石炭以外の輸送量は減少していたが、2019年度は石灰石、セメントの輸送量がやや増加した。

出典：国土交通省「内航船舶輸送統計年報」

品目	輸送トン数(千トン)			輸送トンキロ(百万トンキロ)			平均輸送距離(km)	
	2009年度	2019年度	19/09(%)	2009年度	2019年度	19/09(%)	2009年度	2019年度
石炭	8,042 (2.4)	14,087 (4.1)	175.2	3,132 (1.9)	1,884 (1.1)	60.1	389	134
鉄鋼	39,056 (11.8)	37,725 (11.0)	96.6	19,747 (11.8)	18,062 (10.6)	91.5	506	479
石灰石	28,482 (8.6)	37,021 (10.8)	130.0	10,390 (6.2)	14,001 (8.3)	134.8	365	378
砂利・砂・石材	18,597 (5.6)	18,221 (5.3)	98.0	4,519 (2.7)	6,124 (3.6)	135.5	243	336
セメント	31,832 (9.6)	33,985 (10.0)	106.8	16,449 (9.8)	17,466 (10.3)	106.2	517	514
石油製品	89,604 (27.0)	70,563 (20.7)	78.7	41,564 (24.8)	35,322 (20.8)	85.0	464	501
その他	116,561 (35.1)	129,848 (38.0)	111.4	71,514 (42.7)	76,821 (45.3)	107.4	614	592
合計	332,175 (100.0)	341,450 (100.0)	102.8	167,315 (100.0)	169,680 (100.0)	101.4	504	497

(注) ①()内は各品目別シェア(%)である。②単位未満の端数については、四捨五入したため、合計と内計とは一致しない場合がある。

3 船種別内航船腹量の推移

内航船舶は5,212隻、3,977万7,414総トン。船種別では「貨物船」が一番多く、隻数比67.6%、総トン数比54.5%を占めている。

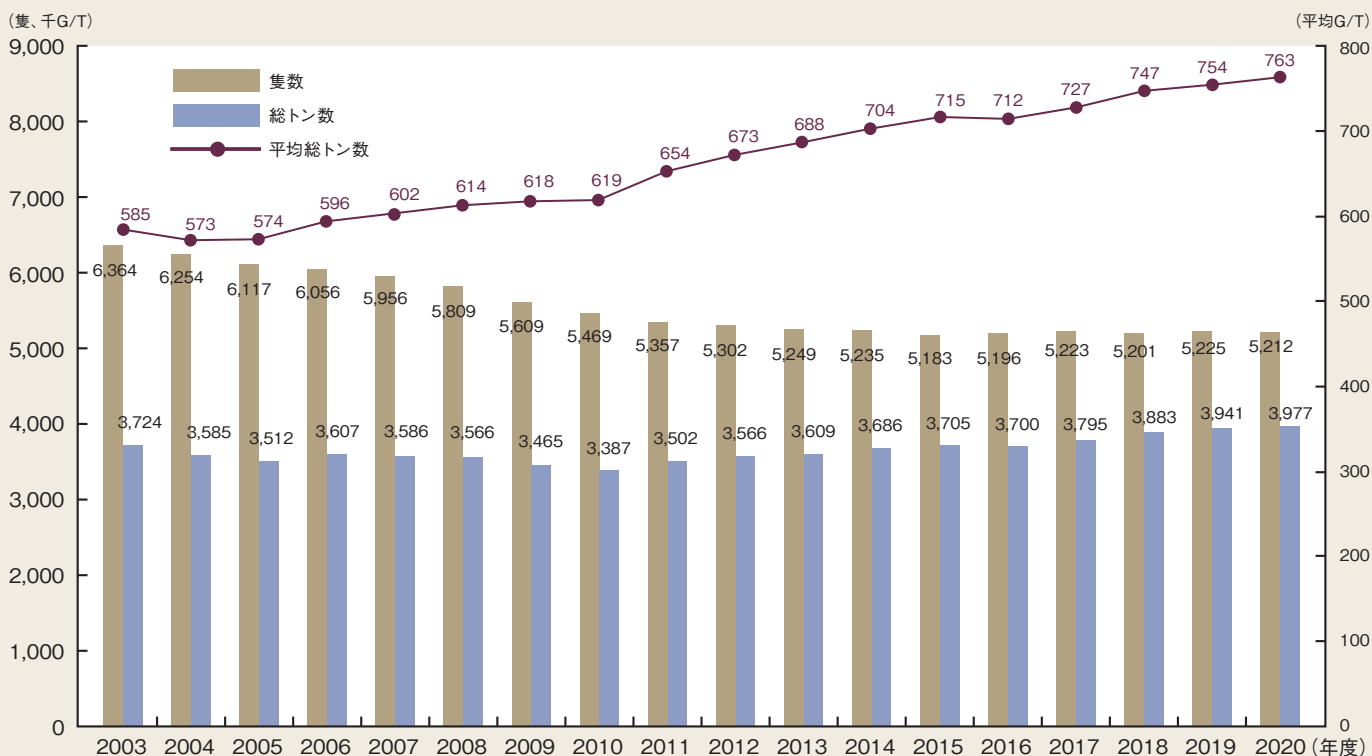
出典：国土交通省海事局

船種	質	2017年3月末		2018年3月末		2019年3月末		2020年3月末		2021年3月末	
		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
貨物船	木船	541	6,911	543	6,893	540	6,817	395	5,580	553	6,830
	鋼船	2,919	1,861,829	2,956	1,973,577	2,960	2,089,414	3,131	2,140,085	2,969	2,162,085
	計	3,460	1,868,740	3,499	1,980,470	3,500	2,096,231	3,526	2,145,665	3,522	2,168,915
土・砂利・石材専用船	木船	2	39	2	39	2	39	2	39	2	39
	鋼船	348	223,145	344	221,988	331	213,810	323	211,394	310	204,691
	計	350	223,184	346	222,027	333	213,849	325	211,433	312	204,730
セメント専用船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	140	394,740	137	390,155	135	386,967	134	388,963	135	402,412
	計	140	394,740	137	390,155	135	386,967	134	388,963	135	402,412
自動車専用船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	16	72,884	12	54,893	12	49,569	11	45,130	10	40,137
	計	16	72,884	12	54,893	12	49,569	11	45,130	10	40,137
油送船	木船	5	52	5	52	5	52	3	33	5	52
	鋼船	935	944,048	934	949,310	929	938,178	938	950,539	933	954,181
	計	940	944,100	939	949,362	934	938,230	941	950,572	938	954,233
特殊タンク船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	290	196,607	290	198,191	287	198,069	288	199,435	295	206,987
	計	290	196,607	290	198,191	287	198,069	288	199,435	295	206,987
合計	木船	548	7,002	550	6,984	547	6,908	400	5,652	560	6,921
	鋼船	4,648	3,693,253	4,673	3,788,114	4,654	3,876,007	4,825	3,935,546	4,652	3,970,493
	計	5,196	3,700,255	5,223	3,795,098	5,201	3,882,915	5,225	3,941,198	5,212	3,977,414

4 内航船の隻数の推移と船舶の大型化の傾向

隻数はここ数年5,200隻前後で推移しているが年々大型化が進んでおり、内航船舶全体の平均総トン数は10年前に比べ23.3%増となっている。

出典：国土交通省海事局



5 船型別状況

隻数比で100総トン以上の中に占める499総トン以下は66%、1,000総トン以上は15%を占める。
また船型の大型化が年々進み内航船舶全体の平均総トン数は10年前に比べ23%の大型化がみられる。

出典：国土交通省海事局

船型	2011年3月31日				2021年3月31日											
	隻数 (構成比%)		総トン数 (構成比%)		油送船(注)				貨物船(注)				合計			
	隻数	構成比%	総トン数	構成比%	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)				
～19G/T	1,386	33.1	19,754	1.5	108	8.8	1,835	0.2	1,377	34.6	19,214	0.7	1,485	28.5	21,049	0.5
20～99G/T	426		30,380		124	10.1	9,552	0.8	201	5.1	12,995	0.5	325	6.2	22,547	0.6
100G/T～199G/T	1,030	18.8	179,606	5.3	191	15.5	32,714	2.8	432	10.9	73,311	2.6	623	12.0	106,025	2.7
200G/T～299G/T	265	4.8	68,232	2.0	41	3.3	10,863	0.9	313	7.9	81,751	2.9	354	6.8	92,614	2.3
300G/T～399G/T	201	3.7	70,522	2.1	65	5.3	22,879	2.0	133	3.3	46,098	1.6	198	3.8	68,977	1.7
400G/T～499G/T	1,093	20.0	533,468	15.8	246	20.0	120,932	10.4	827	20.8	406,134	14.4	1,073	20.6	527,066	13.3
500G/T～699G/T	227	4.1	147,855	4.4	42	3.4	25,959	2.2	118	3.0	72,543	2.6	160	3.1	98,502	2.5
700G/T～999G/T	339	6.2	277,337	8.2	227	18.4	189,131	16.3	224	5.6	175,413	6.2	451	8.7	364,544	9.2
1,000G/T～1,999G/T	148	2.7	219,616	6.5	31	2.5	48,195	4.2	100	2.5	143,819	5.1	131	2.5	192,014	4.8
2,000G/T～2,999G/T	77	1.4	207,457	6.1	23	1.9	61,428	5.3	38	1.0	99,059	3.5	61	1.2	160,487	4.0
3,000G/T～4,499G/T	146	2.7	538,267	15.9	127	10.3	469,362	40.4	55	1.4	207,505	7.4	182	3.5	676,867	17.0
4,500G/T～6,499G/T	55	1.0	285,301	8.4	4	0.3	18,107	1.6	56	1.4	294,256	10.4	60	1.2	312,363	7.9
6,500G/T～	76	1.4	808,862	23.9	4	0.3	150,213	12.9	105	2.6	1,184,096	42.0	109	2.1	1,334,309	33.5
合計	5,470	100.0	3,386,657	100.0	1,233	100.0	1,161,170	100.0	3,979	100.0	2,816,194	100.0	5,212	100.0	3,977,364	100.0
うち100G/T以上	3,657	66.9	3,336,523	98.5	1,001	81.2	1,149,783	99.0	2,401	60.3	2,783,985	98.9	3,402	65.3	3,933,768	98.9
平均G/T	619				942				708				763			

(注) ①内外航併用船及び港運併用船を含み、通関前の塩の二次輸送船、原油の二次輸送船及び沖縄復帰にかかわる石油製品用許認可船を含まない。 ②20総トン未満の営業船を含む。
③ここでは油送船に油送船、特殊タンク船の数値の合計を、貨物船にセメント専用船、自動車専用船、土・砂利・石材専用船、その他貨物船の数値の合計を計上している。
④単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。

6 船齢別状況

内航船舶を船齢別にみると7年未満が隻数比16%、総トン数比29%となっている。14年以上の老齢船は隻数比69%、総トン数比46%。

出典：国土交通省海事局

船齢	隻数(構成比%)						総トン数								
	油送船(注)		貨物船(注)		合計		油送船(注)			貨物船(注)			合計		
	隻数	構成比(%)	隻数	構成比(%)	隻数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)
新造船	31	2.5	49	1.2	80	1.5	24	774	2.1	94	1,918	3.3	118	1,475	3.0
1～7	216	17.5	553	13.9	769	14.8	205	949	17.7	838	1,515	29.8	1,043	1,356	26.2
7～14	303	24.6	485	12.2	788	15.1	518	1,710	44.6	480	990	17.0	998	1,266	25.1
14～	683	55.4	2,892	72.7	3,575	68.6	414	606	35.7	1,404	485	49.9	1,818	509	45.7
合計	1,233	100.0	3,979	100.0	5,212	100.0	1,161	942	100.0	2,816	708	100.0	3,977	763	100.0

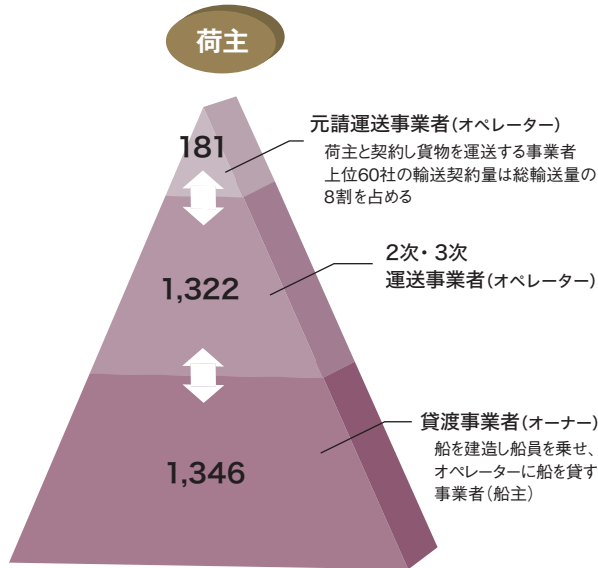
(注) ①内外航併用船及び港運併用船を含み、塩の二次輸送船、原油の二次輸送船及び沖縄復帰にかかわる石油製品用許認可船を含まない。 ②年齢不詳船舶を除く。
③20総トン未満の営業船を含む。 ④ここでは油送船に油送船、特殊タンク船の数値の合計を、貨物船にセメント専用船、自動車専用船、土・砂利・石材専用船、その他貨物船の数値の合計を計上している。 ⑤単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。 ⑥2021年3月31日現在の数値。

7 内航海運事業者数

事業者数は3,353社。このうち休止等事業者が504、営業事業者は2,849。

内訳は登録事業者数では運送事業者が613、貸渡事業者が1,178の計1,791。届出事業者では、運送事業者が890、貸渡事業者が168の計1,058となっている。

出典：国土交通省海事局、日本内航海運組合総連合会



区分	登録事業者	届出事業者	合計
運送事業者数	613	890	1,503
貸渡事業者数	1,178	168	1,346
合計	1,791	1,058	2,849

- (注) ①「登録事業者」=総トン数が100トン以上または長さ30m以上の船舶による内航海運送をする事業、または内航海運送の用に供される船舶の貸渡しをする事業を営む者。
 ②「届出事業者」=総トン数が100トン未満かつ長さ30m未満の船舶による内航海運送をする事業、または内航海運送の用に供される船舶の貸渡しをする事業を営む者。
 ③「登録運送業」=登録運送業のみ、または登録貸渡業、届出運送業、届出貸渡業のいずれかも併せて行っている者。
 ④「登録貸渡業」=登録貸渡業のみ、または届出運送業、届出貸渡業のいずれかも併せて行っている者。
 ⑤「届出運送業」=登録運送業及び登録貸渡業を行わず、届出運送業のみ、または届出貸渡業も併せて行っている者。
 ⑥「届出貸渡業」=届出貸渡業のみを行っている者。
 ⑦ 休止等事業者を除く。
 ⑧ 2021年3月31日の数値。

8 登録事業者数の推移

出典：国土交通省海事局

年月日	運送事業者数	貸渡事業者数	合計	備考
1967年3月31日	9,149	1,792	10,941	1967年4月1日許可制移行
1970年3月31日	1,175	9,129	10,304	1969年10月1日許可制完全実施
1972年3月31日	897	6,057	6,954	1971年8月1日許可対象を100G/T以上に変更
1975年3月31日	901	6,051	6,952	1975年度以降、実事業者数
1980年3月31日	794	5,322	6,116	
1985年3月31日	750	4,868	5,618	
1990年3月31日	725	3,463	4,188	1990年度以降、実事業者数(休止等事業者を除く)
1995年3月31日	712	3,124	3,836	
2000年3月31日	680	2,671	3,351	
2005年3月31日	613	2,206	2,819	2005年4月1日登録制移行
2010年3月31日	701	1,686	2,387	
2015年3月31日	641	1,395	2,036	
2016年3月31日	637	1,344	1,981	
2017年3月31日	633	1,317	1,950	
2018年3月31日	640	1,290	1,930	
2019年3月31日	623	1,239	1,862	
2020年3月31日	619	1,209	1,828	
2021年3月31日	613	1,178	1,791	